

宮城県立自然の家の紹介 ～宮城県に「体験の風をおこそう」～

毎年10月を「体験の風をおこそう推進月間」と定めています。

み <魅力満点！！ 蔵王自然の家>

雄大で豊かな蔵王の自然に囲まれた施設です。春から秋にかけては登山活動や野外炊飯などを、冬にはスキーやそり遊びなどの活動を行うことができ、四季を通して、多くの皆様に利用していただいています。主催事業も年間を通して実施しており、特に、四季ごとに行う「満喫！蔵王の(季節名)」は、季節ごとに表情を変える蔵王の自然のもとで、家族で様々な活動を楽しめる人気の高い事業です。このほかにも、小学5年生から中学3年生が対象の「チャレンジin蔵王」や幼児とその保護者を対象にした「蔵王でみんなとお泊まり会」、成人を対象にした登山など、幅広い年代のニーズに対応した約20の事業を実施しています。本自然の家の活動プログラムでは「ニジマスつかみ」がお勧めです。生きたニジマスを手でつかみ取り、焼いて食べるという一連の流れの中で、自然から命をいただくことで人は生きているということを学べる貴重な活動です。ぜひ皆さんも、蔵王自然の家をご利用ください。



や <やめられない楽しさがいっぱい！！ 志津川自然の家>

当施設は、本格的な**海洋研修**、**洋上研修**などの**海洋型**の自然体験活動を行うことができる東北唯一の社会教育施設です。

眼下の志津川湾でカッター漕艇、シーカヤック体験、洋上めぐり、バナナボート、いかだ作り、海岸散策などができます。また、海洋研修における事故防止のための安全対策や指導体制、施設や船舶の管理などが評価され、令和3年2月宮城海上保安部より「マリンスポーツ安全活動団体」の認証を受けました。他にも広いグラウンドや体育館もあり、児童生徒はもちろん高校生・大学生、そして一般の方々にも目的に応じた研修や合宿を行うことができます。

さらに南三陸の豊かな自然のもとで、幼児からシニア層まで幅広い年代を対象に季節に応じて、「ヨット&マリンスポーツ」「オータムin南三陸」「海の味覚～親子でチャレンジクッキング」等各種の主催事業を開催しています。

ぜひ、志津川自然の家においでください。



ぎ <逆境を乗り越えて復活！！ 松島自然の家>

従前、東松島市野蒜海岸にあった当所は、東日本大震災において甚大な津波被害を受け、施設が使用不可能となりました。出前講座により社会教育活動を継続する中、多くの皆様の働き掛けにより、同市宮戸島に令和3年4月にグラウンドオープンしました。

このような経緯をもつ当所が重視しているのが**防災学習**です。とかく暗いトーンで語られがちな防災ですが、当所では「アウトドアスキルを生かした楽しい防災学習」をモットーに、「ポリ袋クッキング」「ロープワーク」「日用品の活用」等のプログラムを提供しています。

もう一つ、重視しているのが**MAP(みやぎアドベンチャープログラム)**です。受入利用時の活動のほか、出前講座の依頼も多く頂いています。児童・生徒の関係づくりのお手伝いをするはもちろん、指導者対象の研修も行っています。

